

世界好配当株投信 (年4回決算型)

追加型投信／内外／株式

2025年10月31日
(月次改訂)

運用実績

2025年10月31日 現在



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものとして計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指數、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

基準価額※ 31,671円

※分配金控除後

純資産総額 280.8億円

騰落率

期間	ファンド
1カ月	5.5%
3カ月	9.2%
6カ月	25.6%
1年	16.8%
3年	62.6%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に選った期間としております。

設定来 531.8%

設定来=2004年11月26日以降

基準価額変動の要因分解

要因項目	直近1カ月の騰落
基準価額騰落額(分配金込み)	1,664 円
株価要因	781 円
為替要因	913 円
その他(信託報酬等)	-30 円

・上記は、基準日の直近1カ月の基準価額(分配金込み)の騰落額を委託会社が一定の条件の基に算出したもので、円貨にて表示しております。

資産内容

2025年10月31日 現在

地域別配分		
地域	純資産比	内先物
北米	68.8%	—
ヨーロッパ	17.9%	—
アジア・オセアニア	10.4%	—
その他の地域	—	—
その他の資産	3.0%	—
合計(※)	100.0%	—
・国・地域は原則発行国・地域で区分しております。		
ファンドが保有するマザーファンド比率	99.8%	
マザーファンドの配当利回り*	2.5%	

国別配分		
国	純資産比	内先物
アメリカ	66.7%	—
イギリス	6.9%	—
日本	6.1%	—
アイルランド	2.5%	—
ドイツ	2.4%	—
その他の国	12.6%	—
その他の資産	3.0%	—
合計(※)	100.0%	—

※先物の建玉がある場合は、合計欄を表示しております。

通貨別配分	
通貨	実質通貨比率
日本円	7.1%
米国ドル	70.3%
ユーロ	6.1%
イギリスピンド	8.2%
その他の外貨	8.2%

・実質通貨比率は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

業種別配分	
業種	純資産比
医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	9.4%
半導体・半導体製造装置	7.5%
銀行	7.3%
ソフトウェア・サービス	7.1%
素材	7.0%
その他の業種	58.7%
その他の資産	3.0%
合計	100.0%

* マザーファンドの配当利回り: 一株当たりの過去1年の発表済み配当金額を、外国株は作成基準日の前営業日の株価で、日本株は作成基準日の株価で割ったものを、マザーファンドの組入比率で加重平均して算出しております。また、算出においては、税金や信託報酬などは考慮しておりません。マザーファンドの配当利回りは、ファンドの運用実績(騰落率)ではありません。

組入上位10銘柄

2025年10月31日 現在

銘柄	国	業種	純資産比	配当利回り
MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	4.5%	0.6%
BROADCOM INC	アメリカ	半導体・半導体製造装置	4.1%	0.6%
APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	3.6%	0.4%
ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	3.0%	0.3%
ASTRAZENECA PLC	イギリス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフケイエンス	2.2%	1.9%
US BANCORP	アメリカ	銀行	2.0%	4.3%
WELLS FARGO CO	アメリカ	銀行	2.0%	2.0%
TAIWAN SEMICONDUCTOR	台湾	半導体・半導体製造装置	1.6%	1.3%
ORACLE CORPORATION	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.6%	0.7%
ARES CAPITAL CORP	アメリカ	金融サービス	1.5%	9.5%
合計			26.0%	—

組入銘柄数 : 134 銘柄

・国は原則発行国で区分しております。

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

・配当利回りは、一株当たりの過去1年の発表済み配当金額を、外国株は作成基準日の前営業日の株価で、日本株は作成基準日の株価で割って表示しております。配当金額は、税金を考慮しておりません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他のいかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目録見本)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取扱業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



先月の投資環境

○米国: 株式市場は、上旬は政府閉鎖に対する懸念もありましたが、大手半導体企業とAI関連企業によるAIインフラ構築に関する契約締結が好感されたことなどから上昇しました。中旬はトランプ大統領が中国に対して関税の引き上げや、大規模な輸出規制を発表したことなどにより米中関係悪化への懸念が高まり下落しました。下旬は米大手IT企業を中心とした堅調な決算発表や9月のCPI(消費者物価指数)の伸び率が市場予想を下回ったことを受け、FRB(米連邦準備制度理事会)による利下げ期待が高まったことなどから上昇し、月間でも上昇しました。

○欧州: 株式市場は、上旬はトランプ米大統領が、米大手医薬品企業に対して、医薬品についての追加関税を3年間猶予すると発表したこと、域内の医薬品企業についても業績見通しに対する不透明感が後退したことや、フランスの首相が予算合意について楽観的な見解を示したことで政局不安への懸念が後退したことなどから上昇しました。中旬はトランプ米大統領が中国からの輸入品に対する関税を大幅に引き上げると警告し、米中貿易対立激化への懸念が高まったことなどから下落しました。下旬は米CPIの伸び率が市場予想を下回り、FRBによる利下げ期待が高まったことなどを受け上昇し、月間でも上昇しました。

○アジア地域: 東京株式市場は、高市自民党総裁が首相に選出され、政局不安が後退したことや、財政拡張的な政策が期待されたことなどから、月間では上昇となりました。また、日本を除くアジア・オセアニア株式市場は、AI関連産業の成長期待が高まったことや、米中首脳会談を控え、貿易協議進展への期待が高まったことなどを背景に上昇しました。

○為替: 日銀が追加利上げを見送ったことや、財政拡張的な政策に積極的とみられる高市内閣が発足したことなどを背景に月末のドル・円レートは154円10銭と、月間で5円22銭の円安・ドル高となりました。また、月末のユーロ・円レートは178円31銭と、月間で3円84銭の円安・ユーロ高となりました。

先月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

○月間の基準価額(分配金再投資)の騰落率は+5.53%となりました。主な要因は、保有している米国の情報技術株やコミュニケーション・サービス株などの値上がりです。

○月間の主な売買: 配当利回りなどの定量的な評価による割安性をベースに定性的な判断を加えて選定し、米国の素材株やヘルスケア株などを買い付けした一方、米国の人材技術株やフランスの一般消費財・サービス株などを売却しました。

今後の運用方針（2025年11月5日 現在）

(以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

○米国経済は、労働市場の弱さは見られるものの底堅く推移しています。雇用サービス会社のADPが公表する9月の民間雇用者数は前月差-3.2万人と、8月(同-0.3万人)に続き、2ヶ月連続で減少しました。アトランタ連銀のGDP(国内総生産)予想では、7-9月期の実質GDP成長率は前期比年率+3.9%(10/27時点)と推計されています。物価面では、9月のCPIが前年同月比+3.0%(8月同+2.9%)と小幅ですが加速しています。10月のFOMC(米連邦公開市場委員会)では、0.25%の利下げが決定されましたが、雇用の下振れリスクと物価の上振れリスクのどちらを重視するのかは意見が分かれており、今後の金融政策の不確実性は高く注視が必要です。

○世界の主要株式市場は、長期投資の観点からは安定的な配当収益の確保と中長期の値上がりが期待できる投資環境だと考えます。

○銘柄選択は、①配当利回りが市場平均を上回っている銘柄を中心に、②過去の一株当たり配当額、一株当たり株主資本の成長やPER(株価収益率)の水準などによる定量スクリーニングを行ない、銘柄を絞り込み、③更に今後の配当の成長が期待できる企業を選別するために、収益性や競争力などに着目した調査・分析を行ない、定性的に判断します。

○北米、欧州、アジア・オセアニア(日本を含む)の三地域への投資比率は、おおむね各地域の先進国市場の投資可能な時価総額構成比に準じた比率とします。

○国別配分・業種別配分は、特定の国や業種に偏重しないように、リスク分散に留意した運用を行なう方針です。

○ファンドは、実質組入外貨建資産について為替ヘッジを行なわないことを基本とします。

ファンダムは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンダムの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他のいかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンダムの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込みの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目録見本)の内容を必ずご確認のうえ自身でご判断ください。

◆設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号

一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員

一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



組入上位10銘柄の解説

2025年10月31日現在

	組入銘柄	銘柄解説
1	MICROSOFT CORP マイクロソフト	ソフトウェアメーカー。ソフトウェア製品の開発、製造、ライセンス供与、販売、サポートに従事。オペレーティングシステム、サーバー・アプリケーション、法人・個人向けアプリケーションのソフトウェア、ソフトウェア開発ツール、およびインターネット/インターネットソフトウェアを手掛ける。テレビゲーム機、デジタル音楽・娯楽用機器も開発する。
2	BROADCOM INC ブロードコム	半導体メーカー。半導体やインフラソフトウェアのソリューションを設計、開発、販売する。ストレージアダプター、コントローラー、ネットワーキングプロセッサー、モーションコントロール・エンコーダ、光センサーのほか、最も複雑なハイブリッド環境の最新化、最適化、および安全確保のためのインフラやセキュリティソフトウェアを提供。世界各地で事業を展開。
3	APPLE INC アップル	IT会社。スマートフォン、パソコン、タブレット、ウェアラブル端末、アクセサリーの設計、製造、販売に加え、各種関連アクセサリーの販売に従事。決済、デジタルコンテンツ、クラウド・広告サービスも手掛ける。消費者、中小企業、教育、企業、および政府機関の各市場を対象に世界各地で事業を展開。
4	ALPHABET INC-CL A アルファベット	持株会社。子会社を通じ、ウェブベースの検索、広告、地図、ソフトウェア・アプリケーション、モバイルオペレーティングシステム、消費者コンテンツ、業務用ソリューション、eコマース、ハードウェア製品などを提供する。
5	ASTRAZENECA PLC アストラゼネカ	持株会社。子会社を通じて、医薬・医療製品の研究、製造、販売を手掛ける。消化器系、腫瘍、循環器系、呼吸器系、中枢神経系、疼痛管理、麻酔、感染症の8分野において事業を展開。
6	US BANCORP USバンコープ	総合金融サービス会社。預金・貸付サービス、キャッシュ・マネジメント、外国為替および投資運用サービスを手掛ける。クレジットカードサービス、モーゲージ・キャッシング、保険、仲介業務、リースも提供する。米国中西部および西部で事業を展開。
7	WELLS FARGO CO ウェルズ・ファーゴ	総合金融サービス会社。銀行、保険、投資、住宅ローン、リース、クレジットカード、消費者金融などを手掛ける。世界各地の実店舗、インターネット、その他流通網向けに事業を展開。
8	TAIWAN SEMICONDUCTOR 台湾セミコンダクター	半導体メーカー。ウエハー製造、プロセッシング、組み立て、検査のほか、マスクの製造、設計サービスを提供する。同社の集積回路(IC)はコンピューター、通信機器、消費者向け電子製品、自動車、工業機器の各産業で使用される。
9	ORACLE CORPORATION オラクル	ソフトウェア・メーカー。企業の情報管理用ソフトを手掛ける。製品は、データベースやリレーショナル・サーバー、アプリケーション開発および意思決定支援ツール、業務用アプリケーションなど。対象となるハードウェアは、ネットワーク・コンピューター、PDA、セットトップボックス、パソコン、ワークステーション、ミニコンピューター、メインフレーム、大規模並列処理コンピューター。
10	ARES CAPITAL CORP エイリス・キャピタル	事業開発会社。安定したキャッシュフロー(現金収支)実績があり、主要な差別化要因が実証され、明確な成長見込みがあり、経験豊富な経営陣を有する、市場をリードする企業を対象にさまざまな業界に投資する。米国で事業を展開。

(出所)Bloombergのデータ等に基づき野村アセットマネジメント作成

当資料に記載されたコメントなどは特定銘柄の上昇・下落を示唆するものでも、その推奨を目的としたものではありません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他のいかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号

一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員

一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



マンスリーレポート

追加型投信／内外／株式

ファンドの特色

- 信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。
- 世界各国の株式を実質的な主要投資対象^{*}とします。
※「実質的な主要投資対象」とは、「世界好配当株投信 マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- 安定した配当収益の確保に加え、中長期的な値上り益の獲得を目指します。
 - ◆株式への投資にあたっては、配当利回りに着目し、企業のファンダメンタルズ・事業の継続性等を中心とした定性判断を加え、投資銘柄を選別します。
 - ◆世界を「北米」「欧州」「アジア・オセアニア(日本を含む)」の三地域に分割し、各地域への投資比率は概ね各地域の先進国市場の投資可能な時価総額構成比に準じた比率とします。
 - ◆各地域毎に、投資銘柄の平均配当利回りを市場平均に比べて相対的に高水準に維持します。
- 株式の実質組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。
- 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。
- ファンドは「世界好配当株投信 マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- マザーファンドの運用にあたっては、ノムラ・アセット・マネジメントU.K.リミテッドに、運用の指図に関する権限の一部を委託します。
- 原則、毎年1月、4月、7月および10月の10日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。
分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として配当等収益等を中心に安定分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等を勘案し、上記安定分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。
※当面は、1月および7月の決算時に行ないます。
- * 委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。
したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じことがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。
※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込みメモ】

●信託期間	無期限(2004年11月26日設定)
●決算日および収益分配	年4回の決算時(原則、1月、4月、7月および10月の10日。 休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
●ご購入価額	ご購入申込日の翌営業日の基準価額
●ご購入単位	一般コース:1万口以上1万口単位(当初元本1口=1円) または1万円以上1円単位 自動けいぞく投資コース:1万円以上1円単位 ※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
●ご換金価額	ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
●課税関係	個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、NISA(少額投資非課税制度)の適用対象ファンドにおいてNISAを利用した場合には課税されません。 ファンドは、NISAの「成長投資枠」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.3%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.21%(税抜年1.1%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

《分配金に関する留意点》

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があつた場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

【ご留意事項】

- ・投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- ・登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。
- ・投資信託は預金保険の対象ではありません。

・投資信託は預金保険の対象ではありません。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。
野村アセットマネジメント株式会社
★サポートダイヤル★ 0120-753104(フリーダイヤル)
<受付時間> 営業日の午前9時～午後5時
★インターネットホームページ★ <https://www.nomura-am.co.jp/>

<委託会社> 野村アセットマネジメント株式会社

[ファンドの運用の指図を行なう者]

<受託会社> 野村信託銀行株式会社

[ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他のいかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込みメモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

世界好配当株投信(年4回決算型)

お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業 協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社武蔵野銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第38号	○			
株式会社山梨中央銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第41号	○			
株式会社南都銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第15号	○			
野村證券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。